

JCI 公 益 社団法人 南長野青年会議所 Junior Chamber International MINAMI NAGANO



2019年度
スローガン

蒼い情熱を以って 未来への橋を架けよう

2019年度 外報紙

南長野フェスティバル2019 未来への橋を架けよう～復興の光を灯す～

11月30日(土)～12月25日(木) 南長野運動公園 担当 ■ 地域共創委員会

令和元年となる本年のイルミネーション事業は一二年目を迎え、南長野地域の風物詩として認知が広まりつつあります。しかしながら本年は台風一九号による水害により、南長野青年会議所のメイン事業の一つであるイルミネーション事業の開催も危ぶまれました。

しかしこれから復興していく地元の方の心が少しでも癒されてほしいという願いのもと、本事業は当初の予定を変更しましても開催致しました。例年通りの作業が行えない中、時間の限られている中、ボランティアの方などを含め作業を行い、一月三〇日の点灯式にて一斉にイルミネーションが点灯致しました。

今回のイルミネーションは空間を意識し、スカイランタンやビニール傘を投影機で照らしたするなど新たな試みを行いました。また各小学校等の生徒の皆様には折り鶴を折っていただき復興への願いとして飾らせていただきました。連日多くの方が訪れイルミネーションを楽しんでいただくことができたのは、我々南長野青年会議所メンバーにとって大きな成果だったと思います。

本年のイルミネーション事業を通じて被災をされた方が少しでも心安らぐことができたことを切に願っております。



委員事業 11月30日(土) 南長野運動公園
親子ドリリームチャレンジ 共有しよう夢と経験を
担当 ■ 青少年未来育成委員会

一月三〇日(土)の午前中に南長野運動公園オリピックスタジアムに台風一九号の影響で中止になった一〇月例会を委員会事業として行いました。先の台風の影響も拭い切れない中ではありましたが、多くの親子の参加をいただきました。様々な体験を通じ、子供たちに色々興味を持ってもらい、将来に対する夢を持ってもらえたと感じます。この事業を通じ親子間での会話、そして将来についての相談などが積極的に行われていくことを願っています。

委員長所感 宮尾 祐介
一月三〇日(土)の午前中に南長野運動公園オリピックスタジアムに於いて青少年未来育成委員会の委員会事業「親子ドリリームチャレンジ」共有しよう夢と経験を「開催いたしました。
今事業は、小学生のいる親子を対象に、子どもが将来に向け一歩踏み出すきっかけになればと考え、挑戦する事を体験し、親子で協力する大切さを学び、子どもの今興味がある事、頑張っている事を親子で共有する事が出来ればと企画いたしました。
当日は、幅広い年齢層の子ども達と親に来ていただきまして、楽しく事業を体験してもらえたかと思えます。子ども達は課題に向かって真剣に挑戦する姿をみせてくれました。親御さんは子どもが興味持っていることや将来の目標について、改めて知る良い機会になったという声をいただきました。
子ども達にはこの事業を通じて感じた事気づいた事等を糧にして夢や目標に向かい一歩を踏み出してもらおうきっかけになることを願い委員長所感とさせていただきます。



9月例会

9月23日(月) 南長野運動公園 体育館

国際交流ニュースポーツ大会

企画担当 ■ Global Vision 委員会 ■

二〇一九年九月二三日(月)、南長野運動公園体育館において、九月例会「国際交流ニュースポーツ大会」を開催致しました。

本例会は、南長野地域に居住する方々が、同地域に居住する外国出身の方と、ニュースポーツを通じて交流を深めていただくことを目的に開催致しました。



当日は、一名の外国出身の方を含む合計三四名の方にご参加いただき、参加者を五チームに分けて、キリンボール、ドッジビー、カローリング、ポッチャといったニュースポーツを楽しんでもらいました。最後は、同じチームのメンバーで、大縄跳びにもチャレンジしました。

最終結果は、黄色チームの圧勝でした。

初対面同士の方々も多かったと思いますが、国籍・出身地・大人・子どもを問わず、積極的にコミュニケーションを取ることができたと思います。



委員長所感

米山 拓郎

二〇一九年九月三日(月)、南長野運動公園体育館において、九月例会「国際交流ニュースポーツ大会」を開催致しました。

本例会は、国際的な価値観を育む事業として、南長野地域に居住する方々が、同地域に居住する外国出身の方と、ニュースポーツを通じて交流を深めていただくことを目的に開催致し、新しいメンバー同士の親密度向上と、国際交流の在り方を学びきっかけとなることを目指し行いました。

当日は、日本人三名・外国人一名メンバーを含め合計六〇名の方にご参加いただきました。参加者を五チームに分けて、キリンボール、ドッジビー、カローリング、ポッチャ、といったニュースポーツを楽しんでもらいました。最後は、同じチームのメンバーで、大縄跳びにもチャレンジしました。

初対面同士の方々も多かったと思いますが、国籍・出身地・大人・子どもを問わず、積極的にコミュニケーションを取ることができたと思います。

10月例会

10月27日(日) 台風一九号で被災された地域各所

台風一九号被災地復興と地域と共に

企画担当 ■ 青少年未来育成委員会 ■

二〇一九年一〇月二七日(日)に先の台風一九号での被害のため当初予定していた一〇月例会「親子ドリームウォーキング」を中止し、災害ボランティア活動に変更いたしました。

本事業は台風災害に見舞われた方の復興の一助となるべく、南長野青年会議所の例会として計画され微力ながら復興のお手



伝いをさせていただきました。一二月現在も元の生活に戻れていない方もたくさんおり、今後も南長野青年会議所も地元復興のため共に歩んでいきたいと思えます。



委員長所感

宮尾 祐介

一〇月二日(土)・三日(日)にかけて直撃した台風一九号は私達南長野青年会議所が主な活動地域にしている、松代・篠ノ井地域においても大きな被害が齎されました。南長野青年会議所としても、被災された地域の被災地復興の手助けをするべく一〇月二七日(日)に一〇月例会「台風一九号被災地復興と地域と共に」を開催いたしました。

当日は長野市社会福祉協議会と連携し今後のボランティア活動に生かしてもらおうべく、長野大学の学生と篠ノ井地域を対象に被害にあった地区を回り、実際に被災された方の話を聞き、ボランティアの手が足りているか？困っている事、不安な事はあるか？等様々な意見の拾い上げをしてきました。その中で、まだまだボランティアの手が欲しい、一人住まいなので何をすればいいかわからない等、復旧活動に対し考えさせられる話を聞かせて頂く事が出来ました。

まだまだ台風一九号の復旧活動は道半ばです。一日も早く被災された方々が安心した生活を取り戻せるよう、南長野青年会議所も活動してまいります。



11月例会

11月30日(土) 南長野運動公園

南長野フエスティバル2019

未来への橋を架けよう

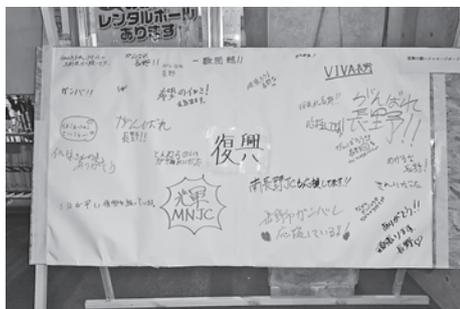
復興の光を灯す

飾り付け・点灯式

企画担当 ■地域共創委員会

二〇一九年十一月三〇日(土)、十一月例会「南長野フエスティバル2019 未来への橋を架けよう」復興の光を灯す」飾り付け・点灯式」を開催致しました。

当日は、イルミネーションの飾り付けを地域の方々と一緒に、終了後、一六時四〇分から点灯式を開催しました。会場に足を運んでくれた皆様とカウントダウンをし、台風一九号による災害からの復興を願った希望の光を灯しました。



今回、新たに空間を活用するスカイランタンとスカイパネルを行ないました。また、復興の願いを込めて、南長野地域の小・中・高生に折り鶴を折ってもらい、学校ごとに飾りました。

また、復興メッセージが書けるようにボードも設置させて頂き、皆様から多くの暖かいメッセージを頂きました。

イルミネーションは二月二日までの間、毎日一七時から二二時まで点灯致しました。被災された皆様が一日でも早く復興することを願っております。

委員長所感

小山 恵吾



二〇一九年二月三〇日(土)に南長野フエスティバル二〇一九の点灯式を行ないました。本来なら二月三日(日)に点灯する予定でしたが、台風一九号の影響で延期してまいりました。この点灯式に様々なご意見があるかと思いますが、被災された方を元気にしたい、前を向いて進んでいきたいという願いから、今事業を実施する運びとなりました。

当日は、イルミネーションの飾り付けを地域の方々と一緒に、終了後、一六時四〇分から点灯式を開催しました。会場に足を運んでくれた方々とカウントダウンをし、希望の光を灯しました。

今回、新たに空間を活用するスカイランタンとスカイパネルを行ないました。また、復興の願いを込めて、南長野地域の小・中・高生に折り鶴を折ってもらい、学校ごとに飾っております。復興メッセージが書けるようにボードも置いて、皆さんの想いを書き込んでもらいました。

被災された皆様が一日でも早く復興することを願っております。そして、皆さんに足を運んでいただき、地域の方々の憩いの場となり、明日への活力になればと思います。

12月例会

12月12日(木)

JAGグリーン長野 グリーンパレス

第58期生卒業式

企画担当 ■総務委員会

二月二日(内)、第三回通常総会に続き、二月例会「第五八期生卒業式」が盛大に執り行われました。

卒業式は第一部第二部に分かれ、第一部はJAGグリーン長野グリーンパレス、第二部はまちの円居・食の団樂 丸十で行われました。

第一部では卒業証書授与と今までの思い出を映像とともに振り返り、第二部では卒業生と現役メンバーがお酒を酌み交わし、最後に

卒業生のスピーチを行いました。各卒業メンバーは残るメンバーにJAG活動や後を継いでいくメンバーへの念いを伝えてくれました。本当日に卒業おめでとうございませう。

第五八期卒業生の皆様は、櫻井 洋君、田中 啓君、岩倉直人君、香川禎文君、新井靖也君、池田 暢君、柳澤悠介君、米山拓郎君、北澤雅博君、下城聖一郎君、宮崎弘章君、以上一名になります。



左から、新井靖也君、香川禎文君、下城聖一郎君、米山拓郎君、宮崎弘章君、櫻井 洋君、北澤雅博君、田中 啓君、柳澤悠介君
※卒業生の岩倉直人君、池田 暢君は、諸事情のため欠席。

委員長所感

酒井 信治

本年は一名のメンバーが卒業されました。卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

本年の新しい試みとして、卒業証書授与まで第一部、飲食を伴う部分を第二部として別会場にて開催致しました。会場移動の際に慌ただしさが出てしまったり、その他諸点で準備不足を痛感する出来事はありませんでしたが、卒業生の皆様には、歓談や卒業生スピーチを通じて、残されるメンバーにJAG運動への思いを思う存分語って頂き、卒業という節目を迎えていただくことができたものと思います。

二〇二〇年度は正会員二六名でのスタートとなる見込みです。少ないメンバーでのスタートとなりますが、本年度卒業生を含む先輩諸兄の皆様が連綿と築き上げてくださった南長野青年会議所を引き続き盛り上げていきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどをお願い致します。

第58期生メンバーご卒業おめでとうございます。



12月12日(金) JAGグリーン長野 グリーンパレス 第三回通常総会

担当 ■ 総務委員会

一二月一二日(木)JAGグリーン長野グリーンパレスにて、(公社)南長野青年会議所二〇一九年度第三回通常総会が厳かに執り行われました。今総会では次年度案件も含め全会一致で可決され、また各役員へのバツツの継承、そして宮崎理事長から酒井次年度理事長へブレジデンタルリースの継承が行われ

ました。本総会は無事終了し次年度への準備が整いました。来年二〇二〇年度も南長野青年会議所を応援していただければ幸いです。よろしくお願いたします。



左から宮崎理事長、酒井次年度理事長、小山直前理事長

2019 Pick Up! 新入会員 No.5



飯田 一基 34歳
2019所属委員会
青少年未来育成委員会

会社名 株式会社西飯田酒造店
会社事業内容 製造業
最近の趣味 趣味する時間を下さい。
JICに入ってよかったこと 日本酒に興味のある方がいて良かった。
これからの目標 邁進力をつける。

2019 Pick Up! 新入会員 No.6



小坂 輝行 35歳
2019所属委員会
地域共創委員会

会社名 株式会社小村商会
会社事業内容 建築業、アパートリフォーム業
最近の趣味 DVD鑑賞
JICに入ってよかったこと 異業種の方との交流や、委員会事業を通して地域の方との交流が出来たこと。
これからの目標 微力ですが、地域 社会発展のために、努力します。

全体事業報告 2019年入会者一覧

【明治安田生命保険相互会社】	佐藤 貴子 君	【わたぼうし】	渡邊 行伸 君
【株式会社二見屋】	笠原 佑晃 君	【株式会社前田製作所】	池田 純也 君
【有限会社双和建設工業】	高橋 健太 君	【祥建】	中澤祥太郎 君
【株式会社ベストアシスト】	久保 善幸 君	【株式会社鈴木商会】	鈴木 旭 君

二〇一九年度御礼

二〇一九年度理事長の職を預かっていただくにあたり「舊い情熱を以って未来への橋を架けよう」とスローガンを掲げ、すべての「ひと」が夢を持って生活を営める未来の実現のために一年間JIC運動を展開することを宣言させていただきました。そして平行してJIC運動を更に伝播させるために、会員数の増強にも力を入れて活動を推進させて頂きました。そんな中で、時代が令和へと変わり元年を迎えた今年、私たちの身の回りでも多くの変化や試練がありました。これまで二〇一九年度の活動が出来たのは改めて関係する諸団体、先輩諸兄をばいめとするすべての方々のお陰だと感じております。改めて感謝いたします。すべての事業を一つ一つ講評したのですが総括して、それぞれに特徴的だった事業を挙げさせていただきます。全体事業として展開した会員拡大事業では会員が改めてJICとは何かを考え、そしてこの南長野青年会議所を改めて見つめ直し全委員会が一丸となって拡大活動に取り組み体制づくりから始めました。毎月二回行われた拡大会議、毎月行われた拡大懇親会と、本日に多くの時間を拡大活動に費やし、目標としていた人数には届きませんでした。近年では一番多くの同志を迎え入れることが出来ました。引き続き次年度へ流れを絶やさず引き継いでいきたいと思います。



理事長 宮崎 弘章

国際事業では、年度の初めから日韓関係が悪化していた中で西大野青年会議所との交流事業でしたが改めて民間交流の大切さを感じると共に、より多くの方々に私たちの交流を知っていただくことが出来ました。訪日では公式レセプションの後、別会場で行われた二次会に卒業生も先輩方も挨拶に足を運ばれ西大野メンバーも大変喜んでおられました。翌日の野沢温泉での会場にはみゆき野JICの同志とも親睦を深めて頂くことが出来ました。訪韓ではASPA C 済州大会で合同ブースを出し、三六年にも及ぶ私たちの交流の歴史を多くの方々共にこれまで以上に多くの時間をわんぱく相撲へ傾けるようになりましたが、そんな中でも八月に行われたキャンプ事業ではこれまで以上に多くの参加者を迎えることが出来ました。社会開発事業では、台風一九号により多くの被害が出てしまっただけで、南長野フェスティバルの開催について本日に最後まで話し合いを続け、多くの方々からも意見を頂く中で開催の決断をしました。近年薄れていた南長野の地をあたかな光で照らし、新しい「ひと」と安らげる場を提供したい、その想いを改めて考え直すことが出来ました。

委員長所感

柳澤 悠介

二〇一九年一月二九日の第一回総会の中で宮崎理事長の大王令で全体事業である会員拡大が本格始動しました。今年度の拡大では、いくつかの特色を設け活動を行いました。特に会員に協力いただいたのが、一〇〇名を超える候補者リストの作成、月に二回の拡大会議、月に一回の拡大懇親会でした。どのミッシェンもハードなものでしたが、南長野青年会議所が一丸となりクリアする事ができました。会員一人一人が会員数に対する危機感を感じたからこそ、やり遂げることができたのではないかと感じます。結果としては、目標数一八名に対して八名の入会となりましたが二〇一九年三月三日まで諦めず拡大活動に邁進して参ります。

二〇一九年度、仮事務所からスタートした運動も先輩諸兄のご協力のお陰で新事務所へと落ち着くことが出来ました。

二〇一九年度も少ない会員数からのスタートとはなりますが、青年らしく英知と勇氣と情熱を以ってここからまた力強い一歩を踏み出し、新たな青年会議所運動を発信していきますので、これまで以上のご指導ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

編集後記

二〇一九年かがり火の発行もこれで最後となりました。本年は本当に色々なことがありました。台風一九号による水害災害、そして我々の同志である片山登志彦君の急なご逝去と悲しいことが続きました。それでも私共現役メンバーは歩みを止めることはできず、宮崎理事長筆頭に会員を引っ張っていただき、そして二〇二〇年度の橋渡しで酒井理事長予定者に引き継ぎも行われました。個人的な願いになってしまいましたが、二〇二〇年度が、僕たちも、日本も、世界も明るい年になることを切に願っています。

最後になりますが、我々南長野青年会議所を温かく応援してください。関係団体、諸先輩の皆様本日に一年ありがとうございました。今後も南長野青年会議所を宜しくお願いいたします。

総務委員会 副委員長 上條 裕太

公益社団法人 南長野青年会議所

〒388-8007 長野県長野市篠ノ井布施高田895-1

TEL : 026-292-2310 FAX : 026-293-5709

E-mail : minaminaganajc@mtg.biglobe.ne.jp

発行元：総務委員会

編集長：上條 裕太

印刷所：有限会社サクセス

ホームページ更新中!
是非ご覧下さい!!

南長野青年会議所

検索

かがり火のバックナンバーはホームページでご覧ください。

